



人と人とのつながりを大切にした 医療の実践を目指して

副院長兼看護部長 中村 康子



新病院での診療がスタートし、お陰さまで早や2年が経過しました。これもひとえに皆様のご理解ご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、最近の患者さまの動向を見ますと、入院患者さまの平均在院日数の短縮化が進むとともに、外来に受診される患者さまが予想以上に増加しています。この要因のひとつとして、多職種のチーム医療により、早期に患者さまが退院され、地域で安心して生活を送りながら治療を継続できるようになったことが挙げられます。

医療の提供に当り、多職種の医療従事者が、患者さまやご家族に寄り添い、その思いや考えにふれ、個々の患者さまの病気に起因する社会生活での生きづらさや背景を深く理解し、個別性に配慮しながら、どのようにしたら、患者さまが、人と人との関わりを通して人生の豊かさや癒される体験を実感し、その人らしい生活を送ることができるかということを検討し支援しています。

また、患者さま自身が病気を理解し主体的に治療に取り組むことができるよう、疾病に対応した学習プログラムやグループ療法、心理面接、作業療法、デイケア、訪問支援など患者さまの状態やニーズに合わせた専門医療の提供を行っています。

このように、患者さまの立場に立って医療従事者の一人ひとりが、常に医療の向上に最善を尽くし、患者さま本位の医療がなお一層推進される病院となりますよう目指していく所存ですので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ご報告

日本集団精神療学会第30回大会が開催されました。

大会長を当院長が務め、当センター職員が企画・運営に携わった同大会が、平成25年3月16日・17日の2日間にわたり長野県看護大学を会場に開催されました。全国から約350名の参加があり、「ホスピタリティにあふれていた」などのお褒めの言葉をいただくことができました。大会テーマ「コミュニティと集団精神療法」の下に活発な議論が行われました。



職員募集 長野県立こころの医療センター駒ヶ根では 医師・看護師を募集しています！

連絡先 0120-173-314 採用専用 又は 026-235-7152(職員課採用担当)
フリーダイヤル 又は saiyou@pref-nagano-hosp.jp

■ 医師…随時募集

■ 看護師(平成25年度 採用試験日程)

- ・第1回 6月22日(土) 会場:長野市
- ・第2回 8月24日(土) 会場:松本市
- 8月31日(土) 会場:長野市
- 9月 1日(日) 会場:東京都
- ・第3回 10月 5日(土) 会場:長野市・松本市
- ・第4回 12月14日(土) 会場:長野市・松本市
- ・第5回 3月 8日(土) 会場:長野市

《試験内容》
適正検査及び個別面接
《募集期間》
随時受付

医学生・看護学生等の病院見学のご希望は
病院(事務部総務課長:藤木)へ
直接ご連絡ください。

お問い合わせ先 0265-83-3181(代)



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構
長野県立こころの医療センター駒ヶ根
～寄りそい 癒し 共に生きる力をはぐくむ～

〒399-4101 長野県駒ヶ根市下平2901
TEL 0265-83-3181(代表) FAX 0265-83-4158
komagane@pref-nagano-hosp.jp
http://www.pref-nagano-hosp.jp/komahosp/homepage

こころ 駒ヶ根 検索



Mental Wellness Center-Komagane

こころ 駒通信

第7号

2013.6.11
発行

内容 ▶▶▶ 医療福祉建築賞2012受賞 新任医師紹介
 外来の紹介 看護部長のコラム ご報告

医療福祉建築賞2012を受賞しました。

平成25年4月26日に医療福祉建築賞2012を管理者である当センター、設計者である(株)共同建築設計事務所、施工者である(株)ヤマウラが受賞しました。

◆受賞理由 ~医療福祉建築賞2012選評より抜粋~

病院のイメージを最初に決定づける玄関ホールは、トップライトや中庭もあり、レンガの壁も取り込んだ半屋外的な空間でどこまでも明るく、患者も家族も区別なく落ち着く小さなスケールでありながら、空間を大きく感じさせていた。その一方で、緊張しているであろう初診患者の待合が他の人からストレートに見えない配慮など、全体的に、細かく密度高く設計されている。病棟は、個室中心であるが、4床室も各ベッドに窓のある個室感覚であり、分散配置されたデイルームからは外の光が入り、外の風景を眺めることができ、長い廊下のイメージから脱皮してアットホームである。精神病院ならではの治療空間としての共用空間・中庭などの高さが印象的であり、これらの空間が患者の生活に活かされていると感じられた。

◆医療福祉建築賞について

医療福祉建築賞は日本医療福祉建築協会(JIHa)が主催する顕彰事業で、1991年に創設され2012年は当センターを含め3施設が受賞しました。医療福祉施設は建築として質が高いだけでなく、利用者側ならびに職員側にとって快適で使い勝手がよいことが条件とされるため、総合的な評価を行ううえで竣工後1年以上3年以内(増改築または改修も含む)の医療福祉施設が評価対象とされています。



新任医師紹介 (4月1日着任)

医監 蓑和 路子(みのわ みちこ) ■精神保健指定医 ■日本精神神経学会精神科専門医 ■日本児童青年精神医学会認定医

夫が生まれも育ちも長野県で、夫のUターンについてきました。私は生まれも育ちも東京ですが、母方祖父は岡谷の出身で、母の従兄弟が駒ヶ根に住んでいることを入職が決まってから知りました。ご縁というのは不思議なものです。広汎性発達障害の診断と治療に特に関心があり、幼少期から成人期まで細く長く支えることが出来ると良いと思っています。ゆっくりと長い時間をかけて、地域に根を張った医療に携わり続けたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

医長 日野 慶子(ひの けいこ) ■精神保健指定医

私は現在の研修医制度となった第1期生で、初期研修中に精神科の奥深さにふれ、精神科医を志しました。初期研修後、精神科病院ヘレジデント(後期研修医)として入職し、4年間ほど在籍したあと留学を経験しました。長野県の自然の美しさに惹かれお世話になることにいたしました。まだまだ不慣れではございますが、一生懸命頑張らせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医師 足立 順代(あだち まさよ)

子供のころから山と登山が大好きで、中央アルプスと南アルプスの山々に囲まれ、自然豊かな駒ヶ根の地に魅了され、関東から引っ越してきました。精神科医としては駆け出しで、家庭では新米ママです。駒ヶ根の自然と人に囲まれ、医師として母としてのびやかに成長できればと思います。よろしくお願い致します。

医師 萬羽 祐二(ばんば ゆうじ)

出身は新潟県で、平成21年に大学を卒業後、地元新潟県的一般病院にて初期研修をしました。そこで保健所研修をした際に、精神科医の不足を痛感し、精神科を志すようになりました。初期研修後、新潟県の精神科病院で勤務をしていましたが、このたび更なる研鑽のためこちらにお世話になることになりました。よろしくお願い致します。